

## コロナ禍での S S N 観察会について

八木千里（千葉市）

コロナ禍で勉強会も出来ず、しかし学校での観察会は行われていたのでどの様な方法で実施されたかを SSN 担当者窓口の方々に文書にて伺いました。

SSN としても貴重な体験でしたので皆さんでも共有して頂きたい勉強会としました。

### 1 例年通り観察会が行われたか

一番多かったのが緊急事態宣言時は中止になった。学校側からの要望。まん延防止等重点処置は地域によって違っていた。

### 2 実施した時コロナに対する約束事を学校側と話し合ったか

実施に至った場合は学校側と話し合いが持たれた。

### 3 実施した時どの様な工夫をしたか

指導員の事前の検温・マスクの着用・手の消毒

生徒側：マスク着用 物の貸し借りなし 大声を出さない

観察会のやり方：1 班を 5～6 人に設定 作業を伴う遊び（カタバミの銅貨磨きなど）や実や葉を口にいれ食すは控える

むしめがね等共有するものは避ける 印刷物は学校に依頼、担任から渡す

消毒液を用意した（学校側、指導員側両方有った）

### 4 観察会を実施した時の指導員の気持ちと学校側

\* 学校側とコロナに対する話し合いをした結果ルールを作る事で幼い子どもたちの楽しみを優先した。

\* コロナを移す、移されるの両方心配だった。まわりには高齢者もいるので感染した場合保証があるわけではない。とても心配だった。

\* 校長先生をはじめ各担任と日頃話し合っているので信頼関係ができています。こちらの希望にも配慮してくれたのが実施出来た一因である。

\* 指導員の中でも意見が分かれ答えはない。落ち着いたら学校側に声掛けをする。

\* 移される心配も少しあったが、それよりも生き生きと学習する姿を見ることが何よりと思った。

\* 学校側から教室内だけの授業より外での授業が気分転換になってよいとの事だった。（学校側、指導員の両方からの声）

2 年間の SSN の方の大変なご苦勞が伺えて子どもたちの笑顔と指導員の安堵感が浮かびます。